

情報基盤整備について

スタートしてから理解を広める

／町長



議員 山下 伊都子
こいづ いたづ さん

問

十二月議会で、調査費が
いた。しかし、アンケートも
取らない。加入率すらフタを
開けて見なくては分からない

事業をこのまま何もしないで
整備が進んでいいのかと言う
住民の声があった。そこで
「ケーブルテレビ事業に反対を
する会」では署名を取ること
にした。山間部での署名が少
ないのではないかとこの質問
があったが、高齢化が進み、
負担増の中でも自分たちでは
どうにもならないとあきらめ
の声がほとんどで署名すら取
れないのが実情。また、佐賀

地域では行政の不十分な説明
でテレビが映らないから仕方
がないという声があった。国
の事業で映らない地域が出る
ことはないという行政説明に怒り、
佐賀のまちでも署名が広がっ
た。町長は、一方的な私たち
の反対のチラシや署名が回っ
ているため、お年寄りに理解
されないから決断したといっ
ているが、それならもつと説
明が必要ではないか。

今議会でも産業建設委員会
で「農業集落排水事業」や「漁
業集落排水事業」の問題が論
議された。加入者が少ないた
め、多額のお金が一財源から
繰入金が出ている。委員会
の意見は加入率を上げるため
には、行政の努力をあげてい
る。

謝っている姿が映し出されて
いた。市長は住民負担を強い
るのは見通しの甘さといつて
謝っている。行政はいつもそ
の時々政策がこうだったか
らと言いつつ謝っている。しか
し負担を強いられ住民はた
まったものではない。

情報基盤整備も将来このよう
なことになりはしないかと心
配をしている。世界的に不況
の中明るい兆しはなく、将来
の老後を考えたとき見通しも
ない中でこれ以上の負担は出
来ない。加入率も確かめない
で赤字が出ればどの様な責任
を取るのか。

また、署名が集められたが、
この署名の重さをどのように
受け止めるのか聞く。

答

下村正直 町長

加入率は、スタートしてか
ら、一つ一つ皆さんに理解を
広めて行き、初期の目標は達
成できるものと考えている。
行政サービスの部分も含んで
いるため、事業が赤字である
か、失敗であるか判断するこ
とは、私自身分からないが、
明らかに失敗であったと明白
になれば一定の責任は取らな

くてはならないと考えている。
署名については大変重いと
思っている。反面町民の声を
聞かないということではない
が、長期のスパンでリーダ
シップの一つではないかと考
えている。

不況の中で地元業者の 潤う事業は

地元雇用をするよう
お願いをしていく

／佐賀副町長

問

佐賀保育所の用地の整備が
進んでいる。地域資源を活か
した取り組みや、地元の建築
業者など参加できる公共施設
の建設が重要になって来てい
る。

私たちの地域でも仕事が多
く国の緊急臨時雇用対策事業
として砂浜の清掃など取り組
みが進んでいる。しかし、派
遣切れや倒産だけでなく地元
の業者や建設労働者、建築労
働者は仕事がなく何とかして
ほしいとの声が聞こえる。地
域の公共施設の建設は地域が
潤う取り組みにしなければな
らない。地域の資源を活かし

答

山本牧夫 佐賀副町長

公共工事を発注する場合は、
法律に定められた一定の基準
があるため、それに基づいて
やる。佐賀保育所は木造建築
を中心に計画をしている。資
源を活かした取り組みは、高
知県産材の利用を入札時に、
特記仕様書に明記をする。地
元建築業者の参加には、入札
時に出来る限り地元雇用をす
るようをお願いしたいと考え
ている。



新築された中央保育所